

News Release

報道関係各位

2023年7月12日

株式会社 kurkku alternative

インドの2村、28農家から移行期間綿（プレオーガニックコットン）を購入支援するプログラム

## 「Grow Organic」スタート

7/12より URBAN RESEARCH DOORSにて予約販売スタート



株式会社 kurkku alternative は、インドの特定の小規模コットン生産者から移行期間綿（プレオーガニックコットン(\*1)）を購入し、オーガニック移行を支援するプログラム「Grow Organic（グローオーガニック）」を開始しました。移行期間綿の購入に加えて、消費者の商品購入代金の一部を移行支援活動に寄付し、生産者、消費者と共にオーガニックの畑を育てていくことを目指しています。

本日より URBAN RESEARCH DOORSにて商品の予約販売を開始し、今後国内および欧米市場に展開します。

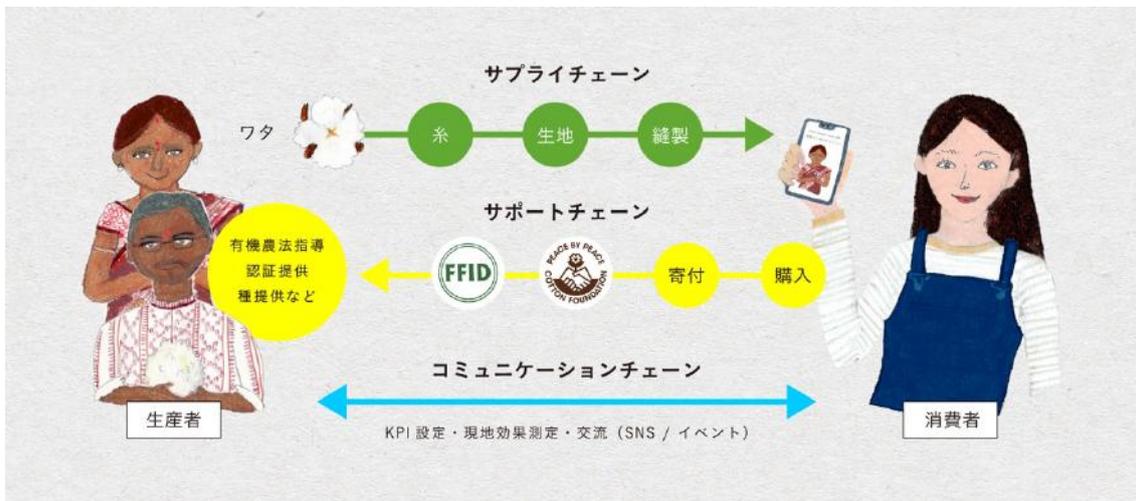
■ プログラムの概要

「Grow Organic」は、以下の点で特徴的なプログラムです：

1. **コットン生産者を特定した商品作り**：インドでも貧困レベルが高いオデーシャ州の 2 村、28 生産者から直接プレオーガニックコットン(\*1 /有機への移行期間綿)を調達し、製品化しています。
2. **売上の一部を寄付**：コットン購入によりオーガニック移行を買い支えるのに加えて、国内外支援パートナー(\*2)の協力を得て、商品売上の一部を生産者に寄付し、オーガニック移行支援（遺伝子組み換え無しの種の提供、農法指導、有機認証提供など）を行います。
3. **KPI を設定し効果を確認**：現地支援パートナーの協力により、生産地の環境と生産者の生活改善に関して多面的な数値目標を設定し、継続的に効果を確認しながら支援を続けます。
4. **生産者と消費者のコミュニケーション**：商品に付属する QR コードなどを通じて、消費者は支援している生産者の情報や支援効果、支援の進捗を確認できます。

■ Grow Organic：生産者、消費者間の”3つのチェーン”

コットン生産者から糸や生地、製品の製造者を通じて消費者へつながる「サプライチェーン」を透過的に繋げると共に、消費者の購買代金の一部を支援パートナーを通じて生産者へのオーガニックへの移行支援に活かす「サポートチェーン」を構築。更に生産地での支援効果をアセスし、消費者から可視化することで、支援プログラムの調整や、生産者と消費者との交流を進めていく「コミュニケーションチェーン」と、3重にチェーンを生産者と消費者間でつなぐことで、生産者支援への消費者の参加を促し、継続的かつ多面的な支援の実現を目指します。



## ■株式会社アーバンリサーチとのパートナーシップ



URBAN RESEARCH Co.,Ltd.

Grow Organic は 株式会社アーバンリサーチ（以下、アーバンリサーチ）とパートナーシップを結び、実施初年度は URBAN RESEARCH DOORS にて独占的販売を行います。Grow Organic とアーバンリサーチは、昨年インドのコットン生産者を共同で訪問し、コットンの調達からの服作りから生産者と消費者とのコミュニケーションプラン作りを一体となり進めてきました。コットンからの服作りは一般的な服作りとは異なり、多くの手間と時間がかかりますが、より良い未来に向けたファッションの提案を目指すアーバンリサーチが、インド農民のより豊かな未来を目指す Grow Organic に共感し、生産者、ブランド、消費者が一体となり継続的な支援を行う取り組みを実施することで、生産者の生活を豊かにすると同時に、消費者のライフスタイル向上への提案を行なっていきます。

---

## ■ Grow Organic 開始にあたってのコメント

「環境に負荷をかけないアパレル企業を志した時、必要以上に生産しすぎない事が最優先のことだと考えますが、またそれと同時に生産者がより安全な方法で生産していける体制を作ることも重要です。

今回、プレオーガニックコットン（POC）はオーガニックに転換する際に不可避な通り道。しかしながら、通常よりもコストはかかるのにオーガニックとしての差別化が難しい微妙な立ち位置の存在です。そんなPOCを、誰が作ったのか、その方たちの環境がどう変化していくのか、という、糸や生地という物質だけでなく、それにまつわるストーリーが買い手と生産者との間でシェアされる「Grow Organic」の可能性に共感しました。

「Grow Organic」は「オーガニックだから」という結果重視の選択ではなく、作る・着る、の双方が各行為の意味をより豊かにできる、ファッションの価値に新たな側面を加えることのできるプロジェクトだと思います。お互いに、遥か彼方の存在である生産者とユーザー。それぞれが、それぞれの世界に興味をもってもらえるような仕掛けや情報を、これからどんどんパワーアップさせていきたいと期待しています。そして、もしかしたら、この製品を使って頂く方のお子様達が、これをきっかけにインドを始め世界にも興味をもって、将来ワールドワイドに活躍し、新しいファッションやビジネスを生み出していくかもしれない。そんな妄想をしています。

普通にスーパーで買うより、知り合いの農家から送って来てくれた野菜がおいしく感じられるように、絶対的品質だけでなく付加価値は洋服にもあると思います。このプロジェクトがどんどん広がって、着ることの満足、ファッションをすることの楽しさに新たな側面を加えてくれることを期待しています。」（株式会社アーバンリサーチ 代表取締役社長 竹村圭祐）

「農家一人ひとりが“ばらばらのまま”でコットンを育てても、『オーガニック認証』はおろか、技術習得さえもできません。ましてやトレーサビリティも保証できません。ようやく育てたコットンを販売するにしても、私たちにはちゃんと(価格等を)交渉する力がありませんでした。そこで、みんなで集まり助け合ってオーガニックコットンを生産し、販売先を見つけることにしたのです。そうすれば村の、コミュニティの力は高まり、オーガニック農法を通じて自給自足を軸にした健康的な生活を送ることができます。なにより「地域をよくしていこう」という気持ちを持った農家が集まり自治していくことで、自分たちの力で地域をよくすることができますと思っています。」(チェटना・コーポラティブ・ソサエティ(コットン購入元であり支援先の生産者協同組合) 組合長、 チッタマン・タムディ)

「私は 20 年以上に渡ってインドの小規模綿花農家が抱える環境、経済、健康といった多面的な課題に取り組むため、農村と向き合い、オーガニックコットンやフェアトレードコットンのサプライチェーンとつながりながら、包括的な支援を行ってきました。今回 Grow Organic の取り組みはこの支援に多面的な指標を与える世界的に新しい取り組みです。オーガニックコットンへの移行を軸に、健康、女性の社会進出、教育など多方面から農家を支援する必要性を、みなさんと指標を通じて継続的に確認し、農家がより豊かになれるよう、私たちも皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。」(FFID マネージングディレクター アルン・アンパティプディ)

「私たちは、FFID とのパートナーシップのもと、2010 年からインドの綿農家の有機農法への転換支援と農家子女の就学・復学支援に取り組んできました。世界的なサステナビリティ意識の高まりとともに、インド綿農家を取り巻く環境はここ数年で見ても大きく変化しています。最も重要なのは農家にとって価値のある取り組みを続けることです。今回、POC と Grow Organic との連携により、移行期間の農家に対するより透明性の高い、積極的な支援が開始出来ることを大変うれしく思います。」(一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTON 代表理事 葛西龍也)

「今回、PEACE BY PEACE COTTON、FFID のご協力を得て、コットン生産者の生活とその生産地の環境をしっかりと見つめた中でプレオーガニックコットン(POC)を買い、その生産地の変化を透視的に見守る仕組みを POC に追加し、「Grow Organic」として新しくスタートができたことを、とても嬉しく思います。

しかしこのプロジェクトはコットンの購買から服作りを始めるという、一般的な服作りとは真逆の服作りであり、昨年よりパートナーとして一緒に取り組んできたアーバンリサーチや、紡績・貿易をご担当いただいた伊藤忠商事はじめ、インド、中国において服作りに関わった各社様のご賛同とご協力なしには実現しませんでした。ここに深く感謝を申し上げます。

農薬を使わないオーガニックコットン栽培が、それが生産者と生産地にどのような豊かな環境と生活を育むのか、消費者に関心を持っていただき、価値として提供できるよう、仕組み作りや情報発信を続けていきたいと思えます。また物質的豊かさのある私たち消費者の生活と精神的豊かさのあるコットン生産者の彼らの生活はとても対象的です。お互いの交流の仕組みを作り促進することで、お互いの暮らしの豊かさを築くプロジェクトになることを目指していきたいと思えます。」(株式会社 kurkku alternative 代表取締役社長 江良慶介)

## \*1 プレオーガニックコットンプログラムとは



伊藤忠商事株式会社繊維カンパニーと株式会社 kurkku alternative が共同で企画・運営するプレオーガニックコットンプログラムは、インドのコットン生産者がオーガニック栽培に移行するための 3 年間の移行期間中に、無農薬栽培コットンを購入し、オーガニック栽培への移行を支援するプログラムです。2023 年現在、全世界のコットン生産の中でオーガニックコットンの生産量は 1.4% しかなく（Textile Exchange より）、温暖化などの地球環境や生産者の健康面や収入面の課題解決につながるオーガニック農法への移行を支援しています。

- 2011 年 グッドデザイン・サステナブルデザイン賞（経済産業大臣賞）受賞
- 2012 年 国連開発計画が主導する「ビジネス行動要請」の取組みとして承認
- 2014 年 日経ソーシャルイニシアチブ大賞 ファイナリスト

## \*2 支援パートナーについて

### 1. 一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTON



インド産のオーガニックコットンを使用した製品の流通、販売をしてくださるブランド、アパレル、商社をはじめ、多業種のパートナーと共創して基金を集め、インドの綿農家の有機農法への転換支援や子どもたちの就学・復学・奨学支援を行っています。  
<https://www.pbpcotton.org>

### 2. Forum For Integrated Development (FFID)



2004 年にインドで設立された NPO である Forum For Integrated Development (FFID) は、有機農法でのコットン栽培を推進し、農家の貧困削減を目指しています。また、農家世帯の子どもたちへの教育支援も行っています。

## 【主な活動内容】

- 有機農法への転換支援：農家への研修（座学・実地）、シードバンク、土壌検査、植樹、生物多様性の保持、認証のサポート、市場とのリンク提供
- 子どもたちへの教育支援：奨学金の支給、ブリッジスクール、MAAD/補助教員の配置、綿花栽培以外のスキル・ディベロップメント

---

Grow Organic ホームページ：<https://www.groworganic.jp/>

Grow Organic インスタグラム：[https://www.instagram.com/groworganic\\_jp/](https://www.instagram.com/groworganic_jp/)

URBAN RESEARCH DOORS Grow Organic 特設サイト：

[https://www.urban-research.jp/special/240712\\_doors\\_poc\\_sp/](https://www.urban-research.jp/special/240712_doors_poc_sp/)

## 株式会社 kurkku alternative（クルックオルタナティブ）

kurkku alternative は、都市生活者が自然や地域、生産者や隣人とのより良い関係性について一緒に学び、生活を循環型、コミュニティ型にシフトしていくために取り組める、オルタナティブな仕組みを提案しています。<https://kurkku-alt.jp>

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 kurkku alterantive

e-mail：[press@kurkku-alt.jp](mailto:press@kurkku-alt.jp) tel：050-6871-6332